

報 告 書 抄 録

ふりがな	あんようじいせき							
書名	安養寺遺跡							
シリーズ名	県道安養寺入町線補助道路整備工事に伴う発掘調査報告書							
編著者名	内田保之 平井美典 北原治							
編集機関	滋賀県教育委員会事務局文化財保護課			公益財団法人滋賀県文化財保護協会				
所在地	滋賀県大津市京町四丁目1番1号			滋賀県大津市瀬田南大萱町1732番2号				
発行年月	平成29年（2017年）3月							
ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所在地	コード		世界測地系		調査面積	調査期間	調査原因
		市町村	遺跡番号	北緯	東経			
あんようじいせき 安養寺遺跡	おうみはちまんし 近江八幡市 あんようじちよう 安養寺町	252042	204-104	35度 04分 17秒	136度 09分 47秒	3,470㎡	20131122) 20140624	県道安養寺入町線 補助道路整備工事
所収遺跡名	種別	主な時代		主な遺構		主な遺物		特記事項
安養寺遺跡	寺院	白鳳～奈良		溝・掘立柱建物		瓦・土師器・須恵器		白鳳寺院
	寺院関連	平安時代		柵		緑釉陶器・灰釉陶器		
	集落	鎌倉時代		掘立柱建物・井戸		黒色土器・土師器・常滑		
	集落	室町時代		掘立柱建物・溝		土師器・信楽・常滑		
	集落	江戸時代		溝		陶磁器		
要 約	<p>白鳳期から江戸時代の複合遺跡。多量の瓦が出土したことなどから、今回の調査地付近に白鳳寺院が存在したことが想定でき、約700m離れた位置に想定されている安養寺廃寺（堂建廃寺）とは別寺院であったことが明らかとなったことが注目される。墨書土器の内容から、堂建廃寺を僧寺に、本廃寺（釈迦堂廃寺）を尼寺と想定できる上、飛雲文鬼瓦等の出土から、8世紀代には近江国府との関連も窺える。</p>							